

総会・講演会

4月13日青少年会館にて、令和7年度（25年度）青少年育成推進員連絡協議会の総会及び講演会が実施されました。総会の内容は令和6年度の事業活動報告・決算報告、令和7年度の事業計画（案）・予算（案）、青少年育成推進員連絡協議会会則の改定でした。各議案はいずれも出席者の過半数が賛成することと決議されました。

よこすか育成通信

題字：上地克明市長
2025（令和7）年9月30日発行

39号

今年度も昨年度の活動をベースに活動を行うとともに新たな活動も計画されています。推進員一丸となって青少年の健全な成長を支援することを目的に活動を進めていきます。ご協力をお願いします。

総会終了後に横須賀市役所民生局福祉こども部子育て支援課から「こどもの居場所づくりの考え方について」「放課後子ども教室について」というタイトルで

講演会が行われました。横須賀市が運営する放課後子ども教室は放課後児童クラブ（学童クラブ）よりも気軽に利用できるようです。また、スタッフも募集しているとのことです。詳しくは横須賀市のホームページをご覧ください。（久里浜・石井良）



青少年指導員活動研究会

6月21日横須賀合同庁舎にて、横須賀三浦地域青少年指導員連絡協議会、横須賀三浦地域県政総合センター、県立青少年センターの主催で行われました。横須賀市、鎌倉市、三浦市、逗子市、葉山町から約40名の青

少年指導員（横須賀市は青少年育成推進員）が参加しました。今年度は人材育成コンサルタントとして活動している、三好良子氏による「豊かな人間関係を築くワークショップ」怒りの取扱説明書」という演習で、怒りを科学的に分析し管理するというものでした。「怒らないのではなく、何に怒って、相手には怒りの元となっている感情をどう伝えるか」が大切だということと、怒るときは冷静ではないため、身につけるのはかなりの経験が必要であると思われました。セミナーは体験学習を織り交ぜた内容になっていたこともあり、講義内容を周りの人がどのよう理解しているかを知ることができたと感じました。



このセミナー受講を普段の青少年育成指導活動に活かしていきたいと思えます。（大津・遠藤 重美、久里浜・石井良）

防大見学ツアー

6月25日青少年育成推進員に対して、横須賀市にある教育施設等の見識を広めることを目的に、今年度は小原台にある防衛大学のキャンパス見学に参加しました。参加人数は36名、防大職員とガイドの説明でスタート。防大の敷地は約65万平方メートル、東京ドーム16個分と広大です。防大の歴史から各施設の説明と案内をしていただきました。その中で記念講堂の広さに圧倒され、講堂内が3



つの会議場にもなる設備の充実さ、学生食堂は日本一の斉に食事ができる広さ（約2000名）、私は初めての見学なので、いい体験になりました。また、この秋には防大の協力を得て、中学校対抗ウォークラリーが予定されています。

「防大キャンパスから観音崎の紅葉樹の森を抜けて磯の香漂う走り水の海辺へ」のサブタイトルとなっており、馬堀中学校区ならではと思いい今から楽しみです。（岩戸・飯田 功）



夏の非行防止 キャンペーン

7月12日に横須賀中央駅周辺と、7月19日に汐入駅周辺の2か所で、16時から行いました。

12日は、大津・不入斗・常葉中学校区の推進員10名が参加し、中央駅のデッキ周辺に3グループに分かれて非行防止の絵入りティッシュを手渡ししながら、非行防止を呼びかけました。



当日は参議院選挙期間中であり、デッキの上と下で拡声器を使った選挙演説に加えて、デッキ下では献血の呼びかけもあり、推進員の声がかき消されてしまいうような中でのキャンペーンでした。

19日は坂本中学校区の推進員7名が参加し、汐入駅からコースカに向かう歩道橋付近に2グループと、横須賀芸術劇場付近の1グループに分かれて呼びかけをし、絵入りティッシュを手渡しました。選挙のチラシを配る人もいましたが、中央駅のような騒がしさはありませんでした。



両日とも30度を超える猛暑の中でのキャンペーンであったこともあり、行きかう人たちは早く涼しいところに移動したいためか足早に通りすぎる人が多く、猛暑という強敵に今後のキャンペーンの実施方法に工夫が必要だと感じました。

(不入斗・俣野 光俊)

馬堀中学校 吹奏楽部

7月26日に矢ノ津公園で行われた矢ノ津町内会盆踊り大会に出演しました。部員と応援の卒業生を含め総勢17名で演奏し、軽快なポップミュージックやアニメの主題歌など、アンコールを含め7曲を披露しました。観客の中には、音楽に合わせて体を動かす方も見うけられ、とても楽しんでる様子が見え、大いに盛り上がりました。馬堀中学校吹奏楽部の演奏は、昨年に続いて2回目となり、演奏の場を増やしたい吹奏楽部と、若い人たちに地域への関心を高めてほしい町内会との思いが合致して、両者はwin-winの関係になっていくとのことです。

また、盆踊りの参加者の中には、身近に若い人がいない方も多く、馬堀中学校に吹奏楽部があることを知って、「私の子どもが在校していた頃は無かったなあ」と言う方もいて、中学校に関心を持ってもらおう、いい機会になっていると思えました。



町内の青少年育成担当者として、地域の中で青少年を見守り育むという目的で、長年、青少年を対象とした活動（祭り囃子の練習）の支援を行ってきた、それなりの成果が出てきていると感じています。一方、これまでは限られた人での見守り活動となっていたため、今回の演奏で馬堀中学校の生徒たちに対する地域の大人の関心が高まり、見守りの方が増えてくれることを期待します。

また中学生がこのような行事に参加して、楽しい思い出をつくることで、自分たちの住む地域に対して愛着をさらに高める

きっかけになればと願っています。

(馬堀・桑原 一也)

青少年見守り隊 「パトロール」

8月20日、役員会の終了後にパトロールを実施しました。こども家庭支援課、子育て支援課、推進員、総勢約20人です。平坂を降りて千日通り、市役所前公園周辺までパトロールを行いました。



中学校区活動発信

七夕飾り

7月5日 岩戸コミュニティセンター体育館において岩戸中学校区青少年育成活動地域連絡会主催の七夕飾りを行いました。今年は大入・子どもあわせて約160名の参加となりコロナ前の活気が戻ったと感じました。会場の七夕飾りと、それぞれの家族が持ち帰ることができる笹・短冊・折り紙を渡し七夕飾りが始まりました。

小さな子は輪っかの飾り作りが多くテープで止めたり、糊で貼ったりいろいろでした。

今年は折り紙を多めに配りました。それは折り紙で飾りを作る時、大人が子どもに教えながら会話が弾むことを目的にしたからです。それぞれの家族が少しでも季節の風情を感じてもらえればと思います。

(岩戸・飯田 功)



プール監視員

昨年引き続きプール授業の監視員を久里浜中学校区青少年育成推進員で引き受けました。6月4回、7月4回、1〜6年の学年ごとに基本2時限。我々年配者には厳しい暑さでした。

課題別に基本、クロール、平泳ぎ、バタ足などグループに分けて行います。途中、先生が輪、ポール、ステイックなどを水中に投げ込み、それらを潜って拾うゲームも取り入れながら約1時間、児童たちの歓声が響き渡りました。

今年の猛暑で中止・延期があり、残念がる児童も。市内全中学、総合高校に暑さ指針が配布されましたが、小学校では計算式による暑さ指数を算出し、規定値を上回ると中止。ここにも猛暑の影響が及ぶとは……。

(久里浜・狩野 昭夫)

親子安全な自転車乗り方教室

4月26日 長井小学校において、自転車の乗り方教室を行いました。この教室は、昭和53年に始まり、横須賀警察署に協力をいただき毎年開催しています。

はじめに、座って交通安全の話聞き、その後校庭にラインをひいて作ったコースを、実際に自転車に乗って乗車指導を受けました。自転車に初めて乗った子どもも付きっきり指導を受けて、「上手になった」とお父さんに喜んでくれました。

最後に事故の事例として実際の車で内輪差の確認をしたり、ヘルメットの中にお豆腐を入れて落とし、ヘルメット無しと比べて、「このお豆腐が君たちの脳みそだよ」というセリフは衝撃的でしたがそれだけに子どもたちの記



憶にも心にもしっかり残ってくれたと思います。

今回はGW初日の開催であったためか、参加者が例年の半数ほどでしたが、日程や周知の仕方を考えて、一人でも多くの子どもが安全に自転車に乗れるように活動を続けていきたいと思っています。

(長井・古河 麻弥)

サマーコンサート



活用してくれました。学校ごとの特色の違いが良く出ていて、演奏する生徒も聞く観客も、我々スタッフまで役目を忘れて大いに盛り上がりました。200近い席を用意しましたが、後ろで立ち見が出るほどでした。演奏が終わり後片付けを手伝いながら部長さんたちに話を聞くと、今は練習が週に3〜4日で時間も限られるため、新曲の会得が難しいこと、季節やテーマに合わせた発表曲の構成に苦労しているとか。学年が上なら持ち曲はあるが、1年生にも積極的に演奏してほしいので練習時間は貴重と言っていました。

そんな先輩たちがいるからか今年は1年生がたくさん入って昨年よりパワーアップした姿を見せられたとうれしい報告もありました。

(長沢・宮島 政人)



8月25日 北下浦コミュニティセンターで今年も北下浦中学校、長沢中学校、津久井浜高校(出演順)の生徒たちが日頃の腕前を披露すべくサマーコンサートが披露されました。猛暑の中、生徒たちは楽器のセッティングに、大人たちは会場づくりにお互い短い言葉を交わしながらみんな生き生きとしていました。それぞれの学校で選曲に工夫を凝らし、軽音楽、吹奏楽に加えてダンスもあり、持ち時間の30分を有効に



左側：不入斗中学校、右側：岩戸中学校での展示

学校訪問は5月から7月にかけて、23 中学校区で情報交換や相互協力をし、win-win の関係を維持する目的で行いました。訪問では昨年、中学生が作られた非行防止ポスターを生徒の非行に対する意識を高めてもらうために掲示してもらいました。

学校訪問をしました

<学校訪問の編>



まちづくり 出前トーク講演

6月20日 開催

講演テーマ 『教職員の働き方改革について』

◎ 講演の要約

教職員の働き方改革と地域連携の課題解決に向けた提案と意見交換がされました。

トピック

1. 教職員の働き方改革の背景と現状
2. 教職員の働き方改革の具体的な取り組み
3. 地域活動と教職員の働き方改革の調整
4. 校長・教頭の負担軽減策
5. 働き方改革の目的と今後の展望



働き方改革の目的は教職員の健康と教育の質の向上。如いては、子どもたちの健全育成のための望ましい環境づくりが重要で地域と学校が協力し、新しい改革の糸口を見つけることを求めなければと感じました。
(追浜・小川 輝夫)



☆ INFORMATION (後期活動のお知らせ) ☆

- ◎ 非行防止街頭キャンペーン : 10月～11月 9地区で開催
- ◎ わんぱくフェスティバル : 11月16日(日) 10時～県立保健福祉大学
- ◎ 中学校対抗ウォークラリー : 12月14日(日) 9時～馬堀中学校区地域内
- ◎ 活動体験発表会 : 2月14日(土) 14時～青少年会館
- ◎ 青少年育成推進員制度 創設20周年記念講演会 : 2月14日(土) 同時開催

～ゆうやけこやけ～

私は東京で生まれ目黒不動尊(龍泉寺)で有名な目黒で育ちました。子どものころは、天気の良い日には、まだ富士山がよく見られたものでした。年末の西の市には、龍泉寺に近い大鳥神社に家族で参拝し、大晦日には、龍泉寺で除夜の鐘を突き、お参りすることが、子どものころの思い出でした。

また、私の菩提寺の圓融寺には、元巨人軍の王さん、張本さんの立派な墓があります。龍泉寺では毎月28日には、縁日が開かれ学校の授業が終わった後、友だちと遊びに行き、夕食後家族でお参りに行くことが楽しみのひとつでした。(S・I)

【編集後記】

よこすか育成通信39号は広報研究部会で「新しい目線」新しい力で発行しましたが、これまでの中心メンバーに頼る場面が多かったと反省しています。

次号ではより進歩する意気込みを持ってるので、関係各位の暖かいご支援・ご協力をお願いします。

(K・S)